

大規模な都市では 「重点対象地域選定シート」を活用することも有効

都市の規模が大きくなると、重点介入地域を選定するのにも、中小規模の市町にはないハードルがある。

人口が約100万人以上の都市では、100に近い日常生活圏域から数か所を選定することが必要になる。

大規模な都市用に開発された地域課題の可視化シートが「重点対象地域選定シート」。

各地区の「要介護リスク要因」、「地域の資源」、「地域活動の濃淡（人材、地域内の関係性、ボランティア等）」、「その他の関連要因」を一覧して評価できる。

ガイド



以下のスライドには、実際に準備する段階で参考になる情報をリンクしています。
必要に応じてご使用ください。

取組み事例③ 「重点対象地域選定シート」を活用したC市の事例

27年度の取り組み経過

- 3月 モデル地域選定
- 6月 モデル地域を管轄する区役所（健康づくり所管）との打ち合わせ
- 8月 関係部局へ事業説明、協力依頼
- 9月 地域包括支援センターへの事業説明・協力依頼
地域関係団体へ説明
ボランティア募集・サロン立上げ準備会・立ち上げ支援
- 10月 個人情報保護審議会
地域関係団体へ説明・協力依頼
アンケート調査（介入前）
- 11-12月 体力測定会（介入前）・サロンでのデータ収集
- 1月 アンケート調査（介入後）・先生方によるデータ分析
- 2月 体力測定（介入後）・先生方によるデータ分析
- 3月 介護予防サロン推進報告会にて簡単に取組み報告

平成28年度以降もC市では本取組みを継続
比較対象地区にも展開し、効果検証を継続する予定

重点対象地域選定シート （東京大学 大学院健康教育 社会学分野 作成・提供）

重点対象地域選定シート	要介護リスク				社会資源等				区分5分位				市分5分位			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
センター圏域ごと	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
色が赤いほど、各項目のリスクが高い	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生の情報を入力（数値化）できる欄	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4

芦田登代・近藤尚己・近藤克則（2016）厚生人の指標，63(7)：7-13

ポイント

JAGES の「健康とくらしの調査」に参加された自治体は、ログイン後、地域ごとの共同ルームからパスワードを入力していただくことで、重点対象地域選定シートをご利用いただけます。

取組み事例③ 「重点対象地域選定シート」を活用したC市の事例

27年度の取り組み経過

- 3月 モデル地域選定
- 6月 モデル地域を管轄する区役所（健康づくり所管）との打ち合わせ
- 8月 関係部局へ事業説明、協力依頼
- 9月 地域包括支援センターへの事業説明・協力依頼
地域関係団体へ説明
ボランティア募集・サロン立上げ準備会・立ち上げ支援
- 10月 個人情報保護審議会
地域関係団体へ説明・協力依頼
アンケート調査（介入前）
- 11-12月 体力測定会（介入前）・サロンでのデータ収集
- 1月 アンケート調査（介入後）・先生方によるデータ分析
- 2月 体力測定（介入後）・先生方によるデータ分析
- 3月 介護予防サロン推進報告会にて簡単に取組み報告

平成 28 年度以降も C 市では本取組みを継続
比較対象地区にも展開し、効果検証を継続する予定

重点対象地域選定シート (東京大学 大学院健康教育 社会学分野 作成・提供)

市町村	人口	高齢化率	要介護率	社会資源等	区分5分位	市分5分位
1	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
2	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
3	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
4	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
5	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
6	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
7	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
8	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
9	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
10	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
11	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
12	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
13	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
14	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
16	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
17	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
18	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
19	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
20	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
21	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
22	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
23	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
24	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
25	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
26	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
27	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
28	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
29	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
30	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
31	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
32	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
33	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
34	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
35	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
36	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
37	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
38	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
39	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
40	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
41	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
42	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
43	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
44	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
45	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
46	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
47	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
48	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
49	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
50	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
51	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
52	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
53	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
54	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
55	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
56	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
57	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
58	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
59	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
60	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
61	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
62	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
63	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
64	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
65	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
66	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
67	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
68	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
69	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
70	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
71	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
72	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
73	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
74	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
75	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
76	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
77	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0
78	10,000	20.0	1.0	1.0	1.0	1.0

センター圏域ごと

色が赤いほど、各項目
のリスクが高い

生の情報を入力
(数値化) できる欄

芦田登代・近藤尚己・近藤克則（2016）厚生労働省，63（7）：7-13

解説



- 27 年に 78 の日常生活圏域(地域包括支援センター圏域)から、4 地区をモデル地区として選定。
- それらの地区で、ボランティア募集、サロン立ち上げ準備会、サロン立ち上げ支援を行い、実際にサロン活動を展開。
- サロン活動実施の前後に、体力測定やアンケート調査を行い、サロンの効果検証を実施。きめ細かな支援や効果評価を行う場合には、行政側の支援体制を考えると一度に 4 か所程度の介入が適正。
- 対象地区を絞り込んでも、介入地区の区役所、市の関連部署、介入対象となる地区の地域包括支援センター等の合意形成がないと、十分な協力を得ることが困難。
- 関係諸機関の多職種が共通認識を持ち合意形成を円滑に進めるうえでも、「重点対象地域選定シート」は非常に役立ったと評価された。